



令和5年2月24日 No. 11 文責 校長 飯久保一男

小笠原小学校2月の様子を紹介します

感染症への対策が緩和されていき、これからは様々な制限がない中で、学習や活動ができるようになっていくと思われていますが、地域の感染レベル「レベル2」の状況の中で、学習・活動をしてきた2月でした。

児童総会 (リモートにて開催)



本校の児童数では、体育館に全員が集まる児童総会はまだまだできませんので、リモートで行いました。児童会本部は児童会室から答弁や議事進行をし、3～6年生は各教室で、話し合いをするスタイルです。発言をしたいときは、学級名の表示をパソコンに向け、指名されたら、パソコンに向かって発言します。だいぶこのスタイルに慣れてきました。返って、クラスごとの話し合いは体育館で一斉にするより、やりやすいかもしれません。

雪が積もりました (2月10日)



昨年も2月10日に雪が降り積もりましたが、今年は昨年よりもたくさん積もって、子どもたちは大喜びでした。休み時間には、校庭を覆い隠した雪の中へ飛び出しました。昼には大雪警報が出されて、子どもたちを早く帰すことにしましたので、午後は学校で遊ばせませんでした。土曜日・日曜日は、たくさん雪で遊べたのではないのでしょうか。

お迎えをお願いした保護者の皆様、子どもたちの登下校を見守ってくださった地域の皆様に感謝いたします。

昔の遊び (1年)



体育 (2年)



小笠原流礼法 (3年)



福祉についての学習 (4年)



校外学習 (5年)



中学校教員出前授業 (6年)



各学年の学習や活動の様子です。未だ一部にできない内容もありますが、外部講師を招いたり、校外へ出かけて行ったりと、子どもたちが学びを広げ、深めることができきています。3学期の残りの期間で、各学年の学習を締めくくり、次の学年に向け、力を蓄えるよう取り組んでいきます。

授業参観 ・ 学年部会



昨年は分散登校をするなど、感染症対策の必要な2月でしたので、2月の授業参観は中止し、紙上の学年部会としましたが、今年は学年ごとに日を替えて実施できました。子どもたちの成長を見ていただき、学年部会でそれを伝えることもできました。

小中一貫校 児童会・生徒会 あいさつ運動



2月が終わり、5年生以下の児童会が主催する「6年生を送る会」と、6年生の最後の授業「卒業式」に取り組む3月になります。